

合同祭実行委員会 様

質問状に対する回答書

2018年8月10日
久保智士

2018年7月26日付で私に対し発行された「合同祭実行委員会より久保智士氏への質問状」について、以下の通り回答いたします。

概要

合同祭実行委員会様のご指摘通り、私は誓約書を提出した2018年7月6日に至るまで、明示的・暗示的関わらず、大九州合同祭に関するツイートや発言、関係者への接触等を行っていました。これらは合同祭実行委員会様の所属メンバーによる、または推測される者からの個人的な接触および脅迫的言動など、私個人の創作・ファン活動に少なからず影響を及ぼす行為が確認されていたこと、また東方樂祭にまつわる意見の不一致を代表とする、合同祭実行委員会様への不信感があったことから行ったものでした。

単なるストレス発散や八つ当たりの部分もありますが、合同祭実行委員会様を無力化、あるいは一部だけでも私が安心できる環境下に動かせれば、という思想のもと、発言や行為に移した部分もあります。

しかし、その中には誤認や誤解、推測による根拠のない思い込みや誇張表現が存在しました。結果として逆に所属メンバーを扇動し刺激することで、私も合同祭実行委員会様もトラブルに巻き込まれ、負の連鎖が生じ、私は合同祭実行委員会様へ不利益を与え、また一部の所属メンバーに対し、攻撃の根拠となる話題を与えていました。それを阻止するための誓約書であるはずが「不当に権利を制限するもの」と謝った認識のもと、合同祭実行委員会様が無効と判断されている自筆の誓約書の内容すら無視した結果、現在の状態に至っています。

本回答書では、私の行いの根拠を可能な限り記すことで、自らの行為を反省すると共に、どのような行為に至ったのかの解明の礎となるようにし、再検討において有益な情報を提供できるよう最大限努力いたします。

なお、早良警察署少年課の指示の影響で現存していない証拠が一部存在します。その部分においては、当時のその他の記録を確認しながら可能な限り正確に思い出した上で記述しております。大変申し訳ありませんがご理解いただければ幸いです。

質問1について

合同祭実行委員会様へ送ったメールや問い合わせの返答がされなかったため「自分達に都合が悪いから削除された」と誤認していました。

また、ポスト荒らしは旧居である学生マンションの管理人が学生の安全のためなのか、チラシ類や架空請求等の迷惑郵便物を管理者権限で無断で抜き取っていることが後ほど判明し、その中で偶然、外出時に気づいてはいたものの放置していた福岡県だよりが誤って回収されていたと判明しました。

しかし私は当時、後述する専門学校での出来事もあり精神的に病んでおり、また早良警察署からのTwitterアカウント削除命令により一部の証拠が消失したことで一部の合同祭準備会様所属メンバーが有利な立場にいることから、「オートロックを突破できるわけがないし、同じマンション内に住む合同祭スタッフの仕業に違いない」と思い込み、ポスト荒らしをされたと主張しました。

なお、管理人の行為は退去時に不動産会社に退去理由の一つとして報告しています。少なくとも不動産会社側は認知していない行為のようでした。

強制退学への誘導についても、明確に合同祭実行委員会様の関与があったという証拠はありませんでした。

私以外の学生の授業態度に発端したトラブルにて、スタッフ会議室や1対1の会話でしか述べたことのない話題や、「精神崩壊しそう」という一部の合同祭準備委員会様所属メンバーが主張したとされる理由を用いられ停学処分が下されたため、「合同祭の誰かが意図的に情報を漏らしたか、関係者がKCS内において、そいつが専門学校からも排斥しようとしている」と思い込みました。

総合して、質問1で私が「された」と主張した行為全てについて、根拠が憶測や妄想に基づいているため、濡れ衣を着せたこととなります。大変申し訳ありませんでした。深くお詫びいたします。

蛇足ですが、私はKCS福岡情報専門学校 ゲーム・CGクリエイター科を、2017年6月18日付で両親の了承の元、自主退学しました。

「ここは健常者のための教育しかしていない」

「クリエイターの中にも障がい者がいることは知っているし在校生の中にもいるが、だからと言って障がい者のための考慮をするつもりはないし、障がいについてや対応などを学ぶつもりはないし必要性もない」

「うちの在学生の障がい者はみんな落ち着いていて大人しい、あなたのお子さんはそうでないからうちの学校には必要ない。落ち着いた自閉症ならよかった」

などと認可校として相応しくない差別的な発言を堂々と教頭クラスの教師が両親に発言し、訂正や謝罪などを行うことすらなかったことが、両親が了承に至った一番の理由です。

その他、

- ・ 企業側が私服を強く要請しているにも関わらず「学校側のルール」などと称してスーツを強制し、しかもその事実を直前になって通達するなど、ブラック企業の特徴として聞くような理不尽で一方的な要求が多かった
- ・ 「PCは製作に使えるマシンをいつでも使えるよう解放」と言われながらも実際はその事実はないなど、オープンキャンパスや説明資料での説明と実際の学校の実態が著しく異なっていた
- ・ 機材が現在の実際の現場で使われていないような環境であることが多く、その理由が「お金がない」「高学年のための高スペック機を低学年に割り当てるわけにはいかない」というもの（Photoshop等の実習マシンが低学年はCore 2 Quad/2GB/HDDの低スペック端末である、HTC ViveではなくOculus Riftを卒業研究者を対象にのみ一台だけ導入するなど）
- ・ 停学に至った原因となった授業態度の悪さの改善は行わず謝罪等もなく、一方的にこちらに不利で騒いだ学生が有利となる復学条件を提案してきた（授業態度の悪さに私が激昂したのが発端ですが、ここまでに「後ろからの椅子蹴り」「授業が聞き取れないほどの私語」「〇〇警察・にわか撲滅・異論撲滅行為」がありました。なお学校側にいくら苦情を入れてもその事実を認めず、対応もありませんでした）

ということがあり、精神的にも肉体的にも体調を崩し、専門学校が学習の場として著しく不適切という結論に至ったうえで「フリーとして活動しながら、高校までのように独学で学習する」という方法が一番有効であると家族全員が判断し、自主退学に至っています。

そういう環境にいたから精神が壊れていました許してください、という主張の根拠としてではなく、クリエイターの卵を育てるところか破壊する教育機関があること、また合同祭実行委員会様の障がいに対する見解が如何に優しいものであったか等を述べるための一環としてご理解いただければ幸いです。

質問2について

小佐井様は2016年9月29日15時25分に、「組長は「知らず知らずのうちに樂祭さんをdisってるからやめた方がいいよ、と善意で忠告したのに完全に逆位に取られたので呆れてもう話したくない」と言ってるよとお伝え下さい。」と増田様を通じ発言されています。

また、東方樂祭準備会様に小佐井様のSkypeの発言をリークしたことが発覚した際、「あなたが個人の一对一の発言を外部に漏洩する人だとは思いませんでした。二度と好意的な対応を取らないことを覚悟してください」という旨のダイレクトメッセージを頂いています。

以上の二点により、小佐井様が私を突っぱねたと判断しました。

小佐井様が仰る通り、小佐井様と浮草流雲様が、スタッフからの苦情をなだめる等していたという話は特にみやびん様から説明を受けています。しかし、増田様より2016年8月26日に

「団体から飛び出した時点で『逃げたと見做して除名処分』となっています」

「全リーダー・チーフから意見伺いましたが、たいへん厳しいものでした。反対7、チャンスはあたえても良いがうちの部署では使えないが3でしたね」

と記載されたメールをメールワイズを通過したメールとして受信しており、小佐井様の「復帰を前提に」が代表の見解で実現しえないため、矛盾している状態であり今でもどう判断すればいいか困っています。そのため、9月29日に小佐井様が最初に私のSkypeのコンタクトをブロックしたこともあり

「突っぱねた」と記述しました。

また、「貴殿の復帰を前提に」とありますが、今後を見据えたアドバイスこそ2016年8月18日に頂いているものの、大変申し訳ありませんが当時は復帰を前提としたものではないものと考え、復帰の意思がなく、Rommel様への謝罪を済ませた時点で「やるべきことはやった」と判断していました。

折角の小佐井様の好意を無下にする行為を行い、大変申し訳ありませんでした。

質問3について

当時電子機器類を一時没収されていたため、録音等がなく私の記憶のみとなり大変申し訳ないのですが、早良警察署少年課は独自の判断基準で動いており「本当は逮捕したかったが、被害者のほうからの要請もあるので仕方がない」という発言も事情聴取の際に出ています。氏名の公表や罪状を変えての逮捕を何度もちらつかせるなど、あくまで立件したうえでの逮捕を前提とした警察の対応が行われており、必ずしも合同祭実行委員会様が望んだ対応通りに行われていないことをご理解ください。

早良警察署は、私に対し2017年4月以降、合同祭実行委員会様のことを「話の通じない人たち」と説明し、接触を例えイベントなどに参加できず不利益が生じるとしても、可能な限り控えるよう要請してきています。

そのため早良警察署と合同祭実行委員会様の間で、認識の差異等が生じていると私は考えます。

質問4について

主にはっきりと目視で確認したホモカレー氏のTwitter上でのある発言に対して言及したものでしたが、現在当該ツイートは削除されています。また、スクリーンショット等の証拠も残っていない状態です。内容としては2016年8月の熊本での合同祭前後で一部のスタッフが一般来場していた私に対し、一部の合同祭スタッフ様が陰で上層部に「かっぱをつまみ出せ」と発言したこともあり、私がそれに苦言を呈したのを知ってか、私が「自分の意見が聞き入れられない！うちはほかのスタッフみたいな奴らと違って特別なのに！やだやだこんなのやだ！ギーッ！」と発言したかのような内容でした。当然ながら当該発言の事実はなく（私は「事件を起こして間が短いし仕方ない、しかしそれを理由にその場で何も問題を起こしていない一般参加者を追い出そうとするのは不適切」と思っていました）彼の個人的な主張ですが、明らかに私の名誉を棄損しており、また障がい者に対する偏見や差別に満ちた発言です。

「ギーッ！」はアスペルガー症候群（高機能自閉症を含みます）の方の主張や発言の際に軽度のパニックを起こした際の真似、かつそこから派生した差別的なネットスラングであり、間違いなく差別発言として成立すると私は思います。

特に陸自隊員である彼の発言は、彼が自衛隊員であるということも含め公表すれば、災害等の国家の非常時に国民を護ることが仕事である自衛隊員が差別発言を行ったとして社会から非難に晒されるでしょう。

障がい者を差別する差別しないは個人の自由ですが、国民を護ることが仕事の、現役の自衛隊員が障がい者差別となる発言をすることは、極めて不適切だと私は考えます。

また、個人的なツイートとはいえ、万が一彼の言動が炎上し、延焼する可能性もあるというのに、ツイートを放置し続けている合同祭実行委員会様側にも、疑問を抱かざるを得ませんでした。

ホモカレー氏のツイートについては、彼がツイートを削除したため、これ以上言及できません。しかし、別件で2016年9月29日に増田様と交わしたSkypeの会話にて、以下のような発言がありました。

16:24 かっぱてつく:

2016/09/29、16:17に チャンコ増田@もうずっと忙しい さんが書き込みました:

> きみがやったら、あわててコードぶちぬくとかすんじゃねーの？

ステージの様子を見ていなければやるかもしれませんが、ステージの様子を見ずに音響機材をいじる音響がどこにいますか？

16:25 チャンコ増田@もうずっと忙しい:

パニック障害の人がなにをいうかな

こちら「アスペルガー＝パニック障がい」と決めつけ、それを理由に主張を退けています。私が高機能自閉症（アスペルガーと前述しましたが、医療機関からの診断では高機能自閉症でした）であるという結果が記載された医療機関の診断結果を、どこに保管されているか知っていたため、親の目を盗んで確認したことがありましたが、パニック障がいという文字はどこにもありませんでした。

当然ながら、診断時にパニックを起こしていなかった結果、診断書に記載されなかった可能性もありますが、高機能自閉症やアスペルガー症候群の方の傾向は人によってまちまちであり、必ずしも「アスペルガー＝パニック障がい持ち主」ということではありません。
確かに一気に大量の情報が流れてきた際に処理しきれず動きがぎこちなくなったり、思考がぼやけることはありますが、それでも確定ではないのに「パニック障害の人が～」と書かれることは不快ですし、「なにをいうかな」と発言する権限がないと主張しているのは、障がいを持っている人物の主張を認めない行為となるため、明らかな差別行為になると私は考えます。

なおこれだけにとどまらず、同会話の流れで増田様は以下のように述べています。
アスペルガー/高機能自閉症と脳性麻痺は性質が全く異なるものであり、前述のやり取りの後に以下のような発言をされたことは、私だけでなくアスペルガー/高機能自閉症や脳性麻痺で苦しんでいる全ての人に対し失礼な発言であると考えます。

17:01 チャンコ増田@もうずっと忙しい:
仲良しのいとこの子が脳性麻痺の障害児でな一
困っている子は助けたいんなんだわ
俺も昔はひどいものだったwので、なおさらね

以上が発言の根拠となりますが、どうしても主観的な話が主となってしまいます。
他人の視点からも否定的な声が上がった＝主観的なものではないのは、「パニック障害」と「脳性麻痺」の二つであり、しかも仕事で障がい児との交流および教育を行っており、時には重い症状の障がいを持つ子供の死に向き合わなければならない父母が述べたものです。

別の障がいと同種に見る、という行為はそれだけでも障がい者差別です。私も両親の苦労や心的負荷を幼いころから聞いている以上、増田様が発言されたことに対し、両親だけでなく私も静観しがたい、というのが

特別学級や特別支援学級に在籍していて、交流もあった時代があるからこそ主張したいのですが、東方 Project や二次創作が好きな方には身体はもちろん、身体以外の障がいを持つ方もおられます。そのような方に失礼だとは思わないのでしょうか。

私に対し言及する際に、「障がい」という部分だけ同じの無関係の方を持ち出す必要はあるのでしょうか。

質問1で軽く述べましたが、合同祭実行委員会様は障がい者に対する配慮がある程度適切になされているコミュニティだと思っています。しかし一部に偏見的思想等が見受けられます。こちらについて、どうお考えでしょうか。

私や家族が憤りを隠せず、大きく精神的に傷ついた事実があった、それにも関わらず謝罪や訂正等がなかったため、当該主張を行ったということをご理解ください。

質問5について

質問3でも書きましたが合同祭実行委員会様と私とで説明内容が結論ごと異なっており、早良警察署は、2017年4月以降、合同祭実行委員会様のことを「話の通じない人たち」と説明し、接触を例えばイベントなどに参加できず不利益が生じるとしても、可能な限り控えるよう私に対し要請しています。さらに、通話録音がされていないため証拠不十分となり申し訳ないのですが「あんな人たちを相手に何を言っても時間の無駄」という、合同祭実行委員会様に対して名誉棄損になりうる発言まで飛び出しています。

そのため行為を制限する「禁止」ではなく、あくまで助言としての「要請」、あるいは「指導」と自認しています。しかし私は「禁じているため」と書き、事実と異なる表現をしています。

事実と異なる表現を行い、大変申し訳ありあませんでした。

質問6について

「合同祭や境界をよくするため」はあくまで所属スタッフ様の行為や言動の傾向から感じ取ったものであり、「関係を疑問に思うものはいた」と幽閉サテライトのsato様、プログラミング仲間であり、ゆーし様とも交流がある、全く合同祭実行委員会様とは関係がない友人M（巻き込まれたくないとおっしゃられているため、イニシャルとなることをご了承ください）氏などから伺っていますが、「関係を切れ、さもないと痛い目に合わせる」というのは先述の傾向から感じ取った内容から想像していった、事実を深刻に思わせるための誇張表現でした。

ご指摘の通り「つい勢いでそう言ってしまった」ものとなります。申し訳ありませんでした。

質問7について

幽閉サテライトの sato 様より「合同祭名義で音楽サークル宛てに『かっぱてっく氏は危険なのであまり仲良くしないように』という要請があった」と報告を受けています。また歌恋人のだぁまん様からも「なんかあったな、そういうの」と同様の要請があった旨の反応を頂いています。

ただし、「嫌がらせを受けた」の部分については私の誇張表現であるため、撤回して謝罪します。申し訳ありませんでした。

質問 8 について

2016 年 9 月末にすず氏より非公開アカウントを通じての DM のやり取りで伺ったものです。

なつゆめみつじ様の件については、今年 7 月の DM において、私の記憶が間違っていると本人からも指摘を受けています。こちらについては撤回の上謝罪いたします。大変申し訳ありませんでした。とはいえ、なつゆめみつじ様が発言者だったという部分については記憶の混濁から来るとみられる誤りでしたが、みやびん様より中洲の屋台にて「あいつとまた会ったら殺してやる」と発言した所属スタッフがいると伺ったのは事実であると私は認識しています。

質問 9 について

間違いありません。私を凶行に走ったほど精神的に追い込まれた原因であるセリカ様が私のユーザータイムラインを閲覧するだけでなく、そこからリツイートされたことに怒りを感じ、またセリカ様が加担したかは不明ですが、非公開設定時にフォローリクエストを集中送信したり、私の発言一つ一つに対し意図的に悪意のある解釈をスタッフ会議室で行うなどの行為が一部のスタッフの間で行われた「チャレンジ」の件もあり、件の記述に及びました。

なお、セリカ様以外の合同祭実行委員会関係者様が私の Twitter アカウントを定期的に監視していることは、特に合同祭に関するツイートをした後に Twitter のアナリティクスに大きな数値の際が認められることから認知していました。

しかし、彼は「チャレンジ」に関与したか不明ですし、悪意を持って行為に及んだわけではないので、結果としてこの発言は誹謗中傷になります。大変申し訳ありませんでした。深くお詫びいたします。

ここまで彼を嫌悪することに疑問を思われたかとは思いますが、理由があります。

2017 年 1 月 5 日に Skype でチャットしていた際、私の会話手法を見たセリカ様が「なんかかっぱさん、朝鮮人みてえ www」と発言されました。

彼なりのブラックジョークであることは理解できますが、やはり快いものではありません。

セリカ氏とは関係ないことですが、2013~2015 年にかけて、ある同人ボーカルのライブ出演辞退・事案を巡り加害者を匿っているとされていた方（その後被害者に対し私からの連絡に応じないよう Twitter 上でやり取りしていたのを確認）トラブルを起こした際に、過激な手法を用いる特定の団体や、2ちゃんのスレッドなどに情報を流してボコボコにしておこうと相談するやりとりが行われていたことがあり、その際に「かっぱは朝鮮人に決まっている」という意見も一部から出ており、以来私にとっては、例えブラックジョークだとしてもあの頃の恐怖を思い出すため、全く笑えませんし、蛇足にはなりますが件のやり取りが行われた際はちょうど反中・反朝鮮半島運動が活発だったこともあり、街中で大きなスピーカーから流れる音を聞くと不安で仕方なくなるほどです。

当然彼がそれを認知していたかといえばそうではありませんが、私の精神的ストレス

また、彼は紫咲ほたる氏とハグやキスをした、特別なものをやり取りした、また旧知の仲であることをアピールし、君よりも僕のほうが彼女を知っている、君がほたるさんに追いつくことはないという旨の主張や、私が紫咲ほたる氏のことを思いながら自慰をしたことがあるに決まっているという決めつけも行っています。

紫咲ほたる氏はいわばアイドルのような存在であり、恋愛感情を持つことは著しく不適切であると理解しています。だからこそ一方的に愛をぶつけるより、好意を一方的に執拗にぶつけるのではなく、社会的に有意なことをすれば、紫咲ほたる氏だけでなく、私を含むそれ以外の方も幸せになるという理論の元、彼女への想いを創作の原動力としています。

そのため、自慰の材料にするなどもってのほかだと思っていますし、確かに紫咲ほたる氏に対しハグなどされてみたいという感情を持ち合わせていないというわけではありませんが、創作活動や彼女やその周りが幸せになれるよう尽力することが第一であり、それが本心というわけではありません。

しかし、彼は一番最初に身体的接触をしたことを出しています。その後のやり取りから、どうやら彼に暗黙的に「そのまま進展して最終的にセックスしたい」と思われているようで、私は彼女を汚されたように感じ、心の底から嫌悪感を感じました。

その後製作中である身で自分も話をやめずに続けたにも関わらず、「あなたと話していたせいで即売会の新作を落としてキレかかっている、猫師匠、巻紙さんもカンカンに怒っている」と自分だけが責め

られ、最終的に一方的にブロックされ、結果として殺意に近い感情を持ち、こんな人間を放置している合同祭を許さないと被害妄想に駆られ、2017年4月の私の凶行に走った原因の一つとなりました。

セリカ様に謝罪すべきであることは理解しています。しかし、私は過去のような殺意に近い感情は当然持ち合わせていませんが、上記の二つが今でも私の中で未だ許容できず、あちらからの訂正や謝罪がない限り、こちらから行いたくないというのが現状です。ご理解いただければ幸いです。

質問 10 について

実際は幽閉サテライトの sato 氏個人による「合同祭の主張に対して個人的に思うところもある」程度のやり取りであり、私の誇張表現でした。大変申し訳ありませんでした。

質問 11 について

こちらについては先日の書き起こしでも説明した通り、事実となります。明確に否定した警察側が虚偽を述べています。

先日のメールのやり取りの中で、また質問 3・5 でも述べた通り、「未成年者保護」の名目のもと、合同祭実行委員会様に報告されている内容が、実際の内容とやり取りと異なることが今までのやり取りで判明しています。

当時の少年課の担当者（クマモト氏）が既に転勤されており、真意はわかりかねますが、少なくとも相談課の話も統合して考えれば、「和解はありえないし、させたくない。合同祭はまともな人たちではない」というのがどうやら早良警察署の本音なのではないかと思えます。

質問 12 について

録音については碌に聞くこともせず、母から聞いた電話の内容から勝手に推測したものでした。また、被害届を検討していた旨は H9600101.WAV 12:55~のやり取りで述べられていますが、実際に被害届が提出された事実はありませんでした。大変申し訳ありませんでした。

なお、2017年4月3日の件については、殺害をほのめかす内容であったため緊急性があると判断され、任意同行のために警察から福岡市へ住民票の緊急請求を行い、メールに記載されていた住所と一致しているのを確認したとのことです（その後の警察への相談で判明。録音機能を有効にしていなかったため録音なし）。

その際に住所を行政に請求する旨の書類が確かに作成されており、それを基に得た住所を基に警察が任意同行のため旧居へ来訪していますし、増田様の名前、職業（「自営業（イベント運営）」等が被害者の情報として記載された、住所請求の書面を取り調べの際に取り調べ用のファイルに挟まれた形で目視で確認しています。

とはいえ発言の趣旨で言えば仰る通り、完全に虚偽となります。大変申し訳ありませんでした。

質問 13、14 について

こちらについては統合して回答します。

2017年4月下旬に TAMUSIC 福岡支部のジュニア氏から、「残雪氏から聞いた内情の話」として2016年9月の楽祭についての話を数点伺っています。

その際に「かっぱ君の言う通り、あの楽祭は失敗だったのではないか」という意見が一部のスタッフから上がっていたという話を伺いました。

また、2017年2~3月頃に夜音氏が彼のサークルアカウントとのDMでのやり取りで「楽祭は失敗だった」と一度述べていましたが、私が「あの楽祭以降力不足と感じて、外注するようになったと主張しているのにそれでも成功と言い張れるのか」と何度も責め立てた結果の失敗発言ですし、スクリーンショットを撮っておらず先述の @9appat3ch のアカウント削除の際に一緒に削除されてしまい、現在は証拠が現存しておりません。

以上の二点を根拠とし「失敗という声があった」と主張しました。また、2017年4月には幽閉サテライトの sato 氏から「必要な書類が合同祭からなかなか来なかった」など数点伺うことができたのですが、以後 TAMUSIC 福岡支部様含め「合同祭とは何もなかった」「楽祭の件については何も知らない」と誤魔化すようになったため、何らかの口止めがあった、楽祭について私が言及したら何も知らないよう振舞うよう要請し、それに反したら処罰を下すと実質口封じをちらつかされたと判断しました。

また、最低限の運営、入退場管理は最初から合同祭実行委員会様の担当となっていますし、恐らく音響を申し出たのも合同祭実行委員会様かと思われます。しかし当時の私は、合同祭内での開催の前例となる2015年に熊本で行われた東方楽祭が、東方楽祭準備会様構成メンバーである EastNewSound の

首藤氏が対応されていたことから、音響を東方樂祭準備会様から強奪したものだと思い込んでいました。

質問 14 については、合同祭実行委員会が万が一東方樂祭準備会様に何らかの一方的な要求や理不尽な主張等が行われた際に備え、「合同祭が何か樂祭側に不利な主張を持ってきたら僕がログを提供する」と私から sato 氏に提案したものです。

そのため、樂祭が失敗であったという証拠は乏しく、また口止めや仕事のはく奪等の事実はありませんでした。また開示を半ば強硬的に取り付けたのは私でした。大変申し訳ありませんでした。

一言が長いのは私の悪癖です。大変申し訳ありません。「一言だけ」を用いないよう努力します。

私が「樂祭が失敗だった」と思ったのは、Twitter でツイートした点が非常に悔しかったのがきっかけです。

2015 年の熊本が成功を収めており、演者様も満足されていたのを見ていたからこそ、音響のミス及び演者様からの指示の無視など、合同祭様側と樂祭様側との意見の不一致が表面化しているのが見えて、だからこそ紆余曲折あった「東方樂祭」というブランドの下で、またその前回となる東方樂祭が純粋なライブとして成立し成功していたのを見て、悔しさのあまりツイートしました。

しかし 2016 年 9 月 29 日の Skype のやり取りで、小佐井様は以下のように述べました。（読みやすいよう改行を加えていることをご容赦ください）

12:40 またはち

樂祭についてのツイートを読みました。

君は相変わらず間違っただけ前提に立って推論するから間違っただけ結論を出すねえ。

アフターライブの枠は樂祭のもの。こちらは音を出してただけ。樂祭の参加枠を設定したのも時間を決めたのも樂祭さんですよ。

30分x3で3サークルくらいにしようとしてたのに8サークルも突っ込んできて直前までセトリも出さず、さらにリハ中にスケジュールを変更し、結果としてリハも不十分になり、1サークル10分くらいになったのも樂祭さんの要望の結果です。

ノウハウがとかなんとか言ってたけど、あれ、全部樂祭の運営批判になってるからね。まあ樂祭の運営がタコ、苦笑いするしかないわって言いたいならそれで構わないが。

私が不快に思い、合同祭様側が樂祭様側に責任を押し付けていると判断した部分を順に私の認識と共に述べると、

30分x3で3サークルくらいにしようとしてたのに8サークルも突っ込んできて

これは合同祭実行委員会様側が「30分×3の時間枠にしたい」という要望を行っていなかったのでは、と思います。また、30分×3の枠での東方樂祭はスペシャルとして開催する際や、2016年1月に小倉で行われた「森羅万象ノ宴」の時など、限られた時に限られます。

少なくとも「しようとしてたのに」と主張される、即ち合同祭様が東方樂祭をコントロールできると判断していたのであれば、合同祭実行委員会様自らが「東方樂祭」という既存のブランドを用いず、「アフターライブ」として主催するべきではなかったのかと思います。

直前までセトリも出さず、さらにリハ中にスケジュールを変更し、結果としてリハも不十分になり

音楽ライブでは直前までセトリを出せないのは同人以外という視点から見ても比較的好くあることであり、リハーサル中に自分たちが最高のパフォーマンスを行えるよう、スケジュールをリハーサルで実際に確認しつつ変更することもあります。そのため、ライブの音響は臨機応変さを求められます。

これは音楽に演者側で関わる者であれば「あるある話」として共有される話ですし、ライブではありませんが、私自身も市民ホールを借りて行われた中学校の文化祭のBGM・効果音の音響を全学年を通して担当し、実経験から学んだことです。

そのため、「リハが不十分になり」というのは、音響担当の経験不足であり、演者の「音止めて！DJだから！」と苦情を音響に怒って入れる姿をステージ上から見ていた身としては、音響を無理やり擁護し、彼の経験の少なさゆえの過ちを正当化しようとしているように見えました。またここでリハーサルに触れたことで、合同祭実行委員会様側の失態を事実上認めていると思いました。

1サークル10分くらいになったのも樂祭さんの要望の結果です。

改めて述べますが、そもそも東方樂祭は5~6サークル参加するのが通常のフォーマットですし、東方樂祭における1サークルあたりの所持時間は幽閉サテライト・少女フラクタル以外は15分と規定されています。

東方樂祭準備会様側とのコンタクトが適切に行われていれば、または東方樂祭に対する正しい知識があれば、このような発言は出ません。

ノウハウがとかなんとか言ってたけど、あれ、全部樂祭の運営批判になってるからね。
まあ樂祭の運営がタコ、苦笑いするしかないわって言いたいならそれで構わないが。

先述のように反論点があるにも関わらず、「全部樂祭の運営批判になっている」と合同祭側に一切責任がない旨を断言されています。

少なくともTAM氏の出演を取り消さざるを得ないライブ開始時間・終了時間に設定されたのは合同祭様側であり、結果後物販の適切な時間枠や出演枠の時間がどれくらいが適切か知り尽くしている樂祭様側の経験つまりノウハウが生かし切れていない樂祭となりました。

ここが「樂祭は失敗だった」と断定した最大の根拠です。

また同日に、増田様は以下のように述べています。

15:20 チャンコ増田@もうずっと忙しい

こちらの案ではなく、独自の香盤もってきたのは樂祭側です
それを時間が短い気に入らない→合同祭が悪いと書いたのはあなたです

あと、まちはち氏の言葉は事実しかかいていません
それを正しくうけとれないあなたがおかしい、悪い

やはりここでも、「独自の香盤もってきたのは樂祭側です」と東方樂祭準備会様と適切なコミュニケーションができていた場合には決して出ることのない発言がされています。

またどこでそう判断したかは分かりかねますが、「時間が短い気に入らない」ということは枝葉のことであり、本質はその点ではありません。

「東方樂祭の今まで歩んできた紆余曲折を無視させるようなことを強いて、何が楽しいんだ」と思いながら、増田様に怒りをぶつけました。

また今まで書いてきませんでしたが、新人とみられる見知らぬ名のスタッフが後物販の長蛇の列を見て「なんでこんなに人並んでるの」と列に並んでいた一般参加者に対し嘲笑されています。

また、増田様が「自己責任で」「返品拒否」（正確な文面ではないことをご了承ください）と段ボールに書き、後物販時に出入りに過去の大⑨州東方祭の際に製作頒布したCDを無人で無料頒布していたのを見て（そして帰宅後に中身を聞いて）、強い怒りを抱いたこともあります。

以上のことから、合同祭実行委員会様が東方樂祭準備会様に対し無理を強いて、結果として過去の東方樂祭の実績を著しく毀損するライブと判断し、失敗と判断しました。

増田様が全額出費したとしても、あの日行われたライブは「合同祭のアフターライブ」ではなく「東方樂祭 with 大⑨州東方祭 19」という東方樂祭という一つのブランドであり、東方樂祭準備会にその進行を任せています。どちらが主催共催関係であろうと、東方樂祭というブランドで何度もライブを行い、経験とノウハウを積んでいる東方樂祭準備会様に合わせるべきだと私は考えます。

また主は即売会、アフターライブはその脇役であると以前主張されていましたが、そもそも九州における東方樂祭はそれまでライブを主としたイベントを即売会終了後に行われており、一種の後夜祭あるいは二次会のような場となっており、即売会を盛り上げるための布石ではないというのが実情です。そうでなければ、2016年1月に合同祭の打ち上げに参加せず、私がスタッフの業務で疲れクタクタになって、身体を僅かながら引きずりながらもライブに参加し、体力を使い果たさぬようにしながらも全力で楽しみ、終演後の後物販で演者様に心配をかけることもなかったでしょう。それほど東方樂祭は、魅力的であり演者の方々がパフォーマンスを思う存分に発揮できる場なのです。

その歴史や魅力を踏みにじられた感覚を覚え許さないと思い、そして浮草氏からTwitterで上記の理由を後付けだと批判され、また私のプライベートな発言までもを責められ、合同祭様を許さないという怨念と、こいつらさえいなければ樂祭はこんなことにならずに済んだんだという殺意が湧きました。

さて、現在の見解ですが、やはり今でも「2016年9月の東方樂祭は失敗である」と思っています。

しかし、その後のアフターライブや、東方ヒットパレードとの共催関係を見ていると、外部に音響を外注したりサークル数を絞ったり、共催という形で出費することでサークル側に一任するなど、「あの時」の過ちを二度と繰り返さない、という意味をどこか感じます。既に2017年4月の事情聴取の際に殺意を捨て去りましたが、今の合同祭様のライブに対する姿勢に、殺意を抱こうとは微塵も思いません。

2017年以降、東方樂祭準備会様が九州での開催の優先順位を下げ、事実上の撤退となってしまいましたが、それでもいつか何らかの形で再び九州の地で東方樂祭が見られることを、私は願っています。私を「樂祭潰しの犯人だ、許さない」と誹謗中傷した匿名メールが送られてきたことからわかるように、九州の樂祭ファンは東方樂祭の開催を待ち望んでいると思います。

質問 15 について

自分がパワハラと主張したのは、2015年10月の初参加でもある熊本の際に「いつか自分でもイベントをやりたい」的なことを言った際に「お前にはまだ早い」と肩をつかんで胸をぐりぐりされたことを指します。

私は身体を触られるのが大の苦手であり、また当時東方アレンジ系ライブを主催しようと考えていた自分にとっては、不快な思い出として今でもフラッシュバックすることがあります。とはいえ、改めて調べた結果パワハラであるか不明瞭なため、この発言は撤回いたします。大変申し訳ありませんでした。

以上が Skype 発言に該当する部分の回答となります。

以降の回答が Twitter のツイートに対する回答となりますが、現在随時指摘されたツイートに限らず、合同祭実行委員会様に関するツイートを順次削除しています。しかし何者かが無断で archive.is というサイトに魚拓を取っておられることから、すべてを消し切るとは難しい状態です。なにとぞご了承くださいませよう、ご理解をお願いいたします。

質問 16・17 について

質問9の件に対し彼に嫌悪感を抱いていた結果たどり着いた誤った思想に基づいてのツイートでした。彼の言動に気に入らない部分があり恨みを持っていたとしても、決して許されるものではありませんでした。大変申し訳ありませんでした。

質問 18 について

こちらについてですが、2015年12月28日の小佐井様の以下の Skype ログがこちらに残っています。

14:10 かつぱてつく

またはちさん、少し相談があるのですが……。

前日設営の日(1/30)ですが、東方ABCではなく、同日あるある City で行われる「コス痛と宴」の観察(実質やろうとしていることは検分にあたるのですが、行くのであれば一般参加となるため観察と表現しています)をどうしても行いたいのですが、これは難しいでしょうか？

列整理などの一般参加者の誘導方法を改めてじっくり観察することによって得られる知識は合同祭の中でも役に立つと思いますし、勉強のために別イベントの運営のやり方を見たいと思っています。

なお「コス痛と宴」の観察を行う場合、前日設営に12:00~14:30までなら確実に参加可能であり、時間外でも方が一の事態が起きた場合は西展のすぐ近くなのですぐに向かえます。

15:19 またはち

原則としてスタッフは前日設営参加が義務です。コス痛に参加するならスタッフ参加は諦めてください。

15:25 またはち

君の言っているのはどう理屈をつけても前日設営を途中で抜けてコス痛に遊びに行くというだけです。

15:29 かつぱてつく

了解しました。コス痛は断念します。

15:31 またはち

うむ。この事は俺の胸に収めておくので他に言ったりしないように。みやびんとかに聞かれたら除名とか言われかねん。

また、みやびん氏と2016年1月11日に交わした

12:20 みやびん (3)

報告です。代表から、売り子じゃなくてスタッフとして来て良いよ。というお言葉を頂いてお
ります。

「なんとか都合つきましたので当日のみスタッフとして参加出来ます。」って感じで書き込ん
でおけば良いんじゃないかな？

21:59 かつぱてつく

返答遅くなりました。スタッフの件、了解しました。当日スタッフとして参加しようと思いま
す。

という Skype でのやり取りにもある通り、スタッフの義務である前日設営の参加を「やむを得ない事
情」での不参加として本来認められないにも関わらず、増田様に特別対応をして頂いたことは事実で
す。

しかしながら、発言にあったような「次やったら追放処分な！」の部分については虚偽でした。大変
申し訳ありませんでした。

スタッフ証を外しての買い物はみやびん様から私に対し義務付けられていたものです。また「何とか
すれば買えるから」の部分については、幽閉サテライト様の会場限定セットの告知を見て「絶対に欲
しい、どうにかできないか」と増田様に直接掛け合った結果頂いた言葉です。

質問 19 について

みやびん氏やすず氏、爽健美茶氏など、所属当時ある程度力を持ったスタッフから脱退したという話
を聞いています。また、私の騒動をきっかけに皆が団結し、スタッフ間の連携を強めたとの報告をす
ず氏から聞いています。

しかし機密情報であるのはご指摘のとおりであり、パブリックな場で語るべきではありませんでした。
大変申し訳ありませんでした。

質問 20 について

チャンネルアートは爽健美茶氏が Twitter のヘッダーを転用しているのを見て、私が YouTube の仕様に
合わせたチャンネルアートを夜音氏と競いつつ製作し、それがいつの間にか正式に採用されていたも
のであり、合同祭実行委員会様から依頼を受けたという事実は存在しませんでした（Skype 会議室
2016 年 2 月 27~28 日）。

従って「貴殿にも出来る仕事を割り当ててあげようという温情」とありますが、そもそも依頼自体が
存在しない以上、依頼したという主張は事実ではありません。

スタッフとして制作したものに権利を主張するのは難しいとしても、私はそれまでに生命の危機を何
度も感じる行為や言動を合同祭の所属スタッフ様から受け事実上活動に対し妨害を何度も受けており、
使用してほしくありませんでした。

そこで、私が権利を移譲する旨を宣言していなかったことを利用し、発言を行いました。当該発言が
不適切であったことを認め、ここに撤回の上謝罪いたします。大変申し訳ありませんでした。

なおこの回答をもって今後一切チャンネルアートの権利関係について言及しないことを補足事項とし、
チャンネルアートの諸権利を合同祭実行委員会様に移譲いたします。未永くお使いいただけたら幸い
です。

質問 21 について

2016 年 8 月に増田様から頂いたメールも小佐井様の IP・認証情報から送付されたものであり、また小
佐井様と増田様で主張が多少異なることを不審に思い、ツイートしたものです。

しかしこれは通常のオペレーションの一部であり、私の主張は不適切なものでした。撤回して謝罪い
たします。大変申し訳ありませんでした。

質問 22 について

すず様やみやびん様、イーボ様から「かつぱ君が問題を起こしたにも関わらず同人界隈をウロウロし
ていることが気に入らず、どうかして潰そうとしている一派がスタッフ内に存在する」と聞いたこ
とが根拠となった発言です。

当時私は、ギリギリの瀬戸際かつ一步道を踏み外せば復帰不能なほど精神的に追い詰められていまし
た。そこにカタログの内容に匿名メールや質問箱で中傷された内容に対して苦情を述べた私のツイー
トを基にしたと思われる文面が記載されていたことがわかり、なぜこうカタログに書いてあるのに、
またスタッフのお嬢氏はカタログに「スタッフが対応します」と書いてあるのに、私含むヒットパ

レドでのサプライズ演出組が事実上粘着してしまっていたにも関わらず、私がいるというだけで顔をしかめ離れていったのに、結果として私が粘着の犯人である、だから許さないとたたかれざるを得なかったのか疑問でならず、小佐井様にメールを送信しました。

いずれにせよ、不適切な言動であることは確かです。大変申し訳ありませんでした。

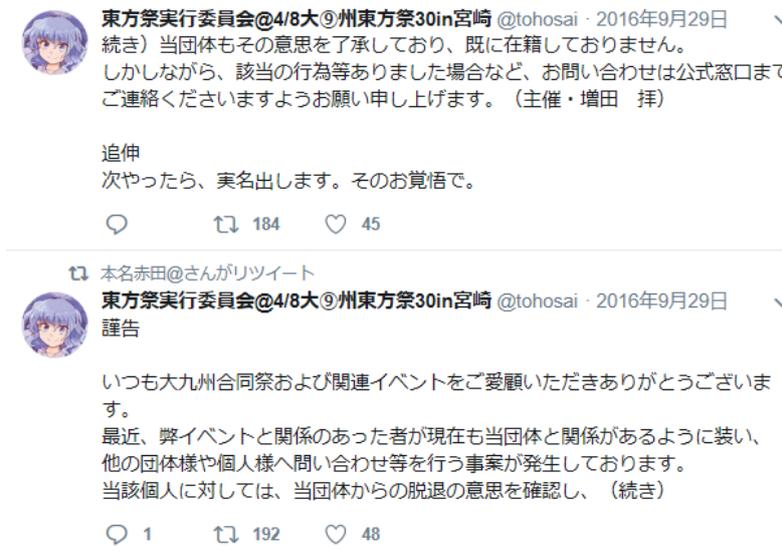
質問 23 について

当時の私は「チャレンジ」の事実やセリカ氏への嫌悪感などに加え、中傷メールや質問箱についても合同祭実行委員会所属スタッフ様が行っているものだと決めつけ、このような発言を行いました。

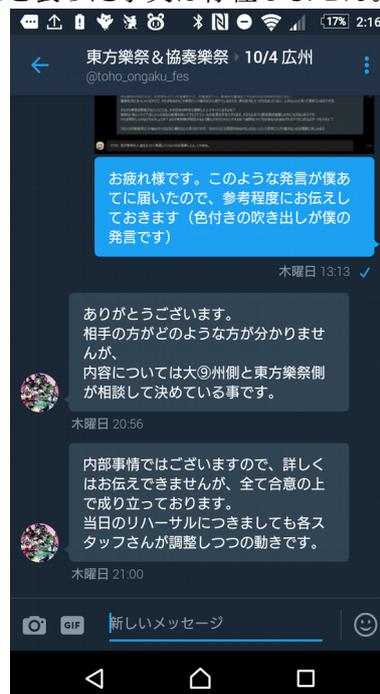
撤回の上謝罪いたします。大変申し訳ありませんでした。

質問 24 について

増田様は以下のようなツイートを行っています。



東方樂祭準備会様に小佐井様の発言をリークした後のツイートですが、私は東方樂祭準備会様と以下のやり取りしか行っておらず、関係を装った事実は存在しません。



また、「問い合わせ等」とありますが、私がこのような行為を行ったのは東方樂祭準備会様のみであり、多数の方にご迷惑をおかけしたかのような表現となっているのは事実と反します。さらに、「脱退の意思を確認し」とありますが、確かに小佐井様に「離れたたい」旨の発言こそしていますが、増田様の公式見解では「逃げ出した時点で除名処分となっている」ということになっています。



チャンコ増田@7/14-16金沢合同祭2...
@chanko_masuda

フォローする

絶縁処分は、19年振り4人目だなー
話を正しく認識できず、妄想が入り混じった
思い込みをもとに判断する。
正しい答えが出るわけがない。都合が悪いと
無視して話すり替えるしね。
我が罪を親のせいにしたところで見切りまし
た。父性の愛がわからないかわいそうな子で
した、
話にならず処置無し。

8:46 - 2016年9月29日

当該の私の増田氏に対する発言のログを父親も見ていますが、「我が罪を親のせいにした」事実は確認できないとのことでした。

また浮草流雲氏は、他のスタッフに対し以下のようなリプライを行っています。



浮草流雲
@r_fusoh

フォローする

返信先: @koumyonakakuregさん

主催系のフォロワーを一斉ブロック祭りして
いるようですね。

11:18 - 2016年9月29日



実際は当時も相互フォロー関係にあった（恐らくアカウント管理者の外し忘れかと思われます）合同祭スタッフ用の非公開アカウント(@dai9shustaff)のフォロワー一覧を参考にスタッフを片っ端からブロックしていたにも関わらず、浮草流雲氏は事実と異なる発言をされています。

ヒッパレ側に述べた「民事裁判を起こす」というのは、増田氏からいただいたとされる「事実に基づいた報告」に質問4のような差別的なものや、上記ツイートも含まれているのではないかと疑念を抱き、情報を開示しない場合の最終手段として述べただけであり、「不本意ながら」とも述べ、本当は行いたくない旨を明確にしています。

歌恋人様と魂音泉様とは世間話やサークルの裏話のような話をする仲であり、私が専門学校を退学した際も背中を押してくださるなど、私を信頼していた方々でした。特に歌恋人様とはこなぐすり時代から知っている関係であり、それ故に「事実に基づいた報告」によって私と歌恋人・魂音泉様との関係に突然溝が生じ、出禁対象とされたことがショックで悔しくて仕方なく、そのためなら裁判を起こしてでも二サークルの目を覚ましてあげたい、合同祭の嘘にまみれた支配からこの手で解放したいという衝動に駆られ、件の発言およびツイートをを行いました。

質問 25 について

紫咲ほたる氏および EastNewSound 様のことを指していますが、以前より合同祭実行委員会様と交流があったこと、また私が紫咲ほたる氏へ特別な感情を抱いていることをご存知であること、セリカ氏との関係があることから、当該発言を行いました。

被害妄想に基づく不適切な発言であったことをお詫びします。大変申し訳ありませんでした。

質問 26・27 について

増田様が「迷惑行為を繰り返したから出禁にした」とコス痛主催サークルである team-orange-road 様へ報告した翌日、現場統括担当であるアフロ侍氏より、「他のイベントで迷惑行為を繰り返して出禁になったと報告を受けた、ここでも同じことをしたらつまみ出して出禁にする」と一方的に命じられました。

また、サークルスペースの方から「荷物を置いていいよ」と言われたため荷物を置かせていただいていたにも関わらず「勝手にサークルスペースに荷物を置いた」と主張され、撤収を見ていただけなのに「邪魔するんじゃないぞ」と言いがかりを付けられ、その他ライブ中にステージから問題ない距離にいたにも関わらず「お前出すぎだ、後ろに下がれ」と怒鳴られる、などの行為を受けました。

彼はこちらへ威圧的な、不適切な表現であることを承知の上で言えば体育系スパルタのような態度で私に接してきたため、紫咲ほたる氏の前であったことも影響してか、恐怖で反論ができませんでした。これらのアフロ侍の行為を、「二次被害」の根拠としています。

なお、アフロ侍氏は具体的なイベント名を明言していませんが、現在出禁措置を行ったのは合同祭実行委員会様のみであり、明らかに合同祭実行委員会様のことを指しています。また、あくまでそのような対応・態度を取られたのはアフロ侍氏のみであり、代表の翁氏やその他スタッフは何ら威圧的な態度を取らず、翁氏に至っては私が持参した菓子を受け取り「ありがとう」と感謝を述べるなどしています。

そのため、合同祭実行委員会様所属メンバーが参加したことを「二次被害」と表現しているものではありません。

あくまで判断は team-orange-road 様のものではありませんが、アフロ侍氏による行き過ぎた行為は増田様による報告が根拠であり、「増田様が追い出すよう指示したのでは」と当時の自分は思い込んだため、その点で「二次被害」と表現しました。

思い込みの部分について、またそれを受けて合同祭が口封じをしようとしていると被害妄想に陥り、怒りの衝動に任せて書いた質問 27 のツイートについて謝罪いたします。大変申し訳ありませんでした。

質問 28 について

合同祭実行委員会様は幽閉サテライト様や EastNewSound 様など、私が「生きる糧」としているサークル様と密接な関係を結んでおられます。その方たちに「でいぐらていーむ氏と接触するな、もしも来たら追い返せ」と言えば、簡単に私を窮地に追い詰めることが可能です。そのため人質と表現しました。

また「一生創作活動が出来ない状態に追い込まれる」というのは全国の同人イベントや商業に影響力を持つ浮草流雲様がスタッフとして所属しており、また浮草流雲様とは以前 Twitter 上で言い争っているため、迂闊に行為を起こせば全国の同人イベントから出禁措置を食らい、また商業に行ったとしても彼と繋がった瞬間に追放されかねないと思ったためです。

「吹き込んでいる」と表現したのは、質問 26・27 で述べた行為があり、私がイベントを妨害する悪人であり参加させるべきでない増田様が強く要請したものだと思い込んだ結果です。しかし、事実ではありませんでした。撤回の上謝罪いたします。大変申し訳ありませんでした。

質問 29 について

先日のメールでお伝えした通り、当時私は誓約書の内容を「自分たちに都合が悪い発言や行動を制限させ、活動を妨害する」ものであると考えており、それを強要していると思い込んでいました。そのためこれを詳細と判断せず、当該発言を行いました。不適切な発言であったことをお詫びし、謝罪いたします。大変申し訳ありませんでした。

威嚇については質問 41 で回答いたします。

質問 30 について

小佐井様がサイボウズ Live の合同祭グループ上のスレッドにて、2018 年 2 月 15 日（レス番号 33）にて以下のように発言されています。

彼からチャット、メール、あるいは直接接触を受けた場合は自分までご報告ください。スクリーンショットなどがあると助かります。

また、すず氏、イーボ（旧名、白黒）氏より 2016 年 10 月時点で「交友関係であれば黙認するがかつばてっく氏と絶対に接触しないように。接触した場合は判明した時点で除名処分とする」という通達が合同祭実行委員会運営部様よりあったと聞いています。

そのため私は命令が行われたと判断していました。違うということであれば申し訳ありません。

質問 31 について

合同祭実行委員会様の名前を出したのは、精神的ストレスが最悪値まで溜まり、衝動的に出したものです。この発言の後、母親に対し死にたいと連呼し、結果的に博多警察署に保護されています。

花見の際の「よろしくお願ひします」の真意について、父に回答を頂きました。

（実際の父からの回答は改行なしでしたが、読みやすさの観点からこちらで改行を入れています）

智士の父の久保浩市です。

花見の席で初めて小佐井さんや増田さんとお目にかかって、増田さんに「息子のことをよろしくお願いします」とお話ししました。親として当然のことであると思います。

「人付き合いが苦手なところあるのでお願いします。」との発言もしたと思います。

この発言は、障がいがあるからお願いしますとの意図があったわけではありませんが、みやびん氏より智士の障がいについて聞いておられたのなら、誤解を招く発言だったと考えます。

申し訳ありません。もし、私が障がいがあるからお願いしますとお話ししたのなら、具体的に智士の特性や得意なところ苦手なところまで、ある程度具体的にお話しして対応をお願いしますと伝えたとします。

以上の通り、よろしく申し上げますと父が発言したのは事実です。

しかし増田様は以下のように、「障がいがあるからよろしく申し上げます」と言われたと主張されています。また、花見の日ではなく、初回のスタッフ参加であった熊本の前日に話に来られたことになっており、結果として父のGPS記録などからアリバイが成立しているにも関わらず、「父からの相談もあったので障がいのことを考慮してあげていた」ということになっています。

増田様の主張により、今でも両親ともに苦しんでおり、特に母は「いままでの話の内容は「男同士の会話」でした それを女親に言ったら荒れるわな」「母親にいったら、話がおかしくなることは見えてんだよ」という発言を聞いてショックを受け、現在でも増田様に対し憎しみを抱いています。

16:32 チャンコ増田@もうずっと忙しい:

"スタッフしていて、いきなりどこかなくなったり、ジャンプしたり、奇声あげてんのはみんな知っているんだよ"

チャンコ増田@もうずっと忙しい, 29.09.2016 16:26

という言葉に「否定したか」ということばがかかっているとしたら

「彼はああいう障害あるけど、やる気は買って見守ってあげましょう」と、スタッフ全員に根回しはしてたけどね

16:32 チャンコ増田@もうずっと忙しい:

並みの団体なら、初回の熊本の途中で帰れて言われるわ

16:33 チャンコ増田@もうずっと忙しい:

あなたのお父さんからも事前にそうだんありましてね

16:33 チャンコ増田@もうずっと忙しい:

全部事情知っててきてもらってたんですが

16:34 チャンコ増田@もうずっと忙しい:

だから、以前親に責任転嫁した発言したときに激怒したのです

「警察と共同で抗議～」については、早良警察署の「あちらに注意を入れる」を私が曲解して解釈したものにになります。大変申し訳ありませんでした。

出禁と創作の自由、楽しむ自由は何の関係もないと仰られています、私は機材の導入などの関係で、ほぼ九州内のイベントにしか参加できない状態です。

また、東方ヒットパレードを含むライブに参加することは私の生きがいでもあり、それ故に東方ヒットパレード様からも出禁を通達された際は、自分の生きがいを潰され楽しむ自由を奪われたと思えました。また、質問26の件もあり、私の楽しみが一つ、また一つと合同祭実行委員会様が出禁にした事実を伝えることにより話を理解する能力がない危険人物であると周りから認識されるようになっていき、そして私が場を移しても質問41で提示するツイートのような主張が追尾して攻撃し、最終的に私が創作できる場も、楽しむ場もすべて失わせようとしていると思っていました。

また、出禁の対象にある「合同祭関係イベント」の範囲がわからず、また今年九州内で行われた東方ピースや、去年行われたCOOL&CREATEのライブ等、物販協力という形での参加でも抵触しかねないと思自粛せざるを得なくなり、結果的にライブを楽しむには今の私にとって大きすぎる大金を支払って本州方面に行くか、画面越しで静かに楽しむしか方法がなくなりました。そのため当該発言を行いました。

僕にとってライブは生きがいであり人生の楽しみの一つであり、私が精神的に安定する要素の一つです。それを事実上奪われたことは、死ぬと同等の意味でした。なので私には関係があります。それをご理解いただければと思います。

質問 32 について

「みんなで叩いて潰す」ということは感想は許可なしに出せている
自分たちの仕事に虚偽と妄想に満ちたケチをつけられたら仲間にするわけにはいかないのは当然

許可制はみやびん様が「大九州の感想はチャンコさんが皆に対し許可しているだけであって、チャンコさんが気に入らないもの、例えば否定的な意見は許可されていない。楽しかった以外の発言は認められていない」と発言されたことからきています。

仲間にするわけにはいかないのは理解できますが、「するわけにはいかない」で止まらず「だから排斥しよう、追い出そう」と考えた一部スタッフから「チャレンジ」等で精神を削られ、質問 41 で提示するような発言などで怯えて過ごす日々を過ごし、質問 26 のような迫害を受けています。

警察から証拠の提出など求められたことはありません

こちらは私の勘違いでした。大変申し訳ありませんでした。

抗議の電話など頂いておりません

増田学氏の電話に 2017 年 4 月 3 日を含め、数度電話をかけていますが、電話の電源が切られている旨のアナウンスか発信音が流れるだけであり、つながりませんでした。

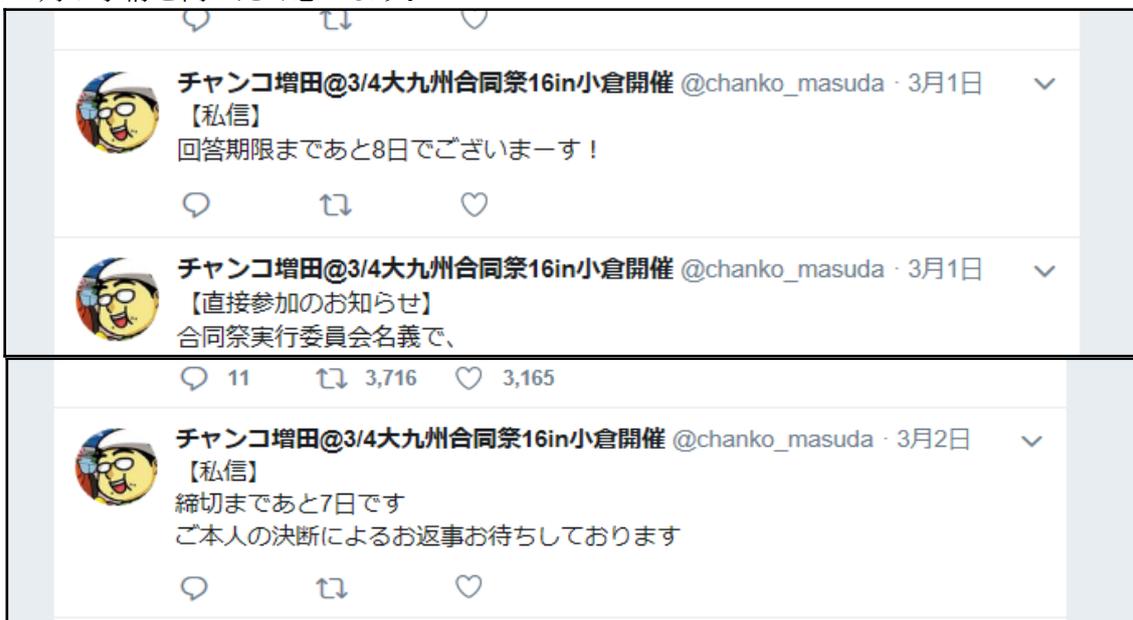
また、私が両親に相談し代理で電話を試みてもらいましたが、増田商会の存在と電話番号を探し当ててまで電話を数度かけたそうですが、すべて繋がらないか、繋がってもしばらくの無言の後に電話が切られたそうです。

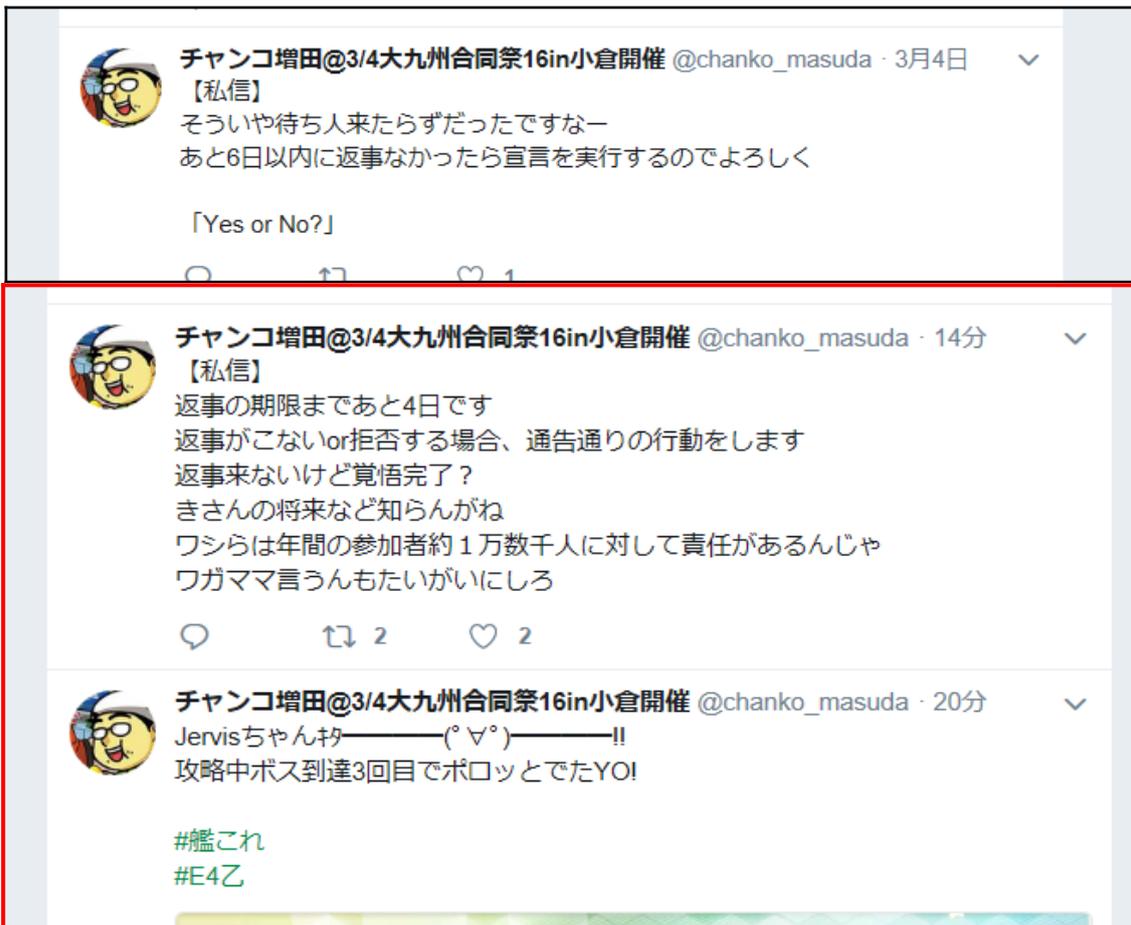
質問 33 について

この主張ですが、私に代わり所属スタッフや公式アカウント、公式サイトの監視を行っていた父からの「公式サイトに一日だけカウントダウンが載ったことがあり、すぐに削除された」との報告を受け、主張したものです。

しかし改めて父に確認したところ、小佐井様の主張通り、個人情報のカウントダウンは公式サイトでは行われていなかったことがわかりました。こちらについては私の確認不足でした。大変申し訳ありませんでした。

ただ、増田様の Twitter アカウントには以下のスクリーンショットの通り、個人情報の開示をほのめかずツイートが行われています。よって「温情として保留していました」との主張と矛盾していますが、こちらに対し事情を伺いたく思います。





質問 34 について

私の背中を押してくださった歌恋人様、魂音泉様に出禁対象として扱われ、未読無視されるようになった末に至ったツイートです。

共に活動したことはありませんが、私をクリエイティブな人間であると評価してくださり、創作関係にまつわる話題を共有したこともありました。それ故に、ショックで、悔しくてたまりませんでした。

結果、質問 26 のような行為を誘導するよう呼び掛けていたと思い込み、当該発言をしてしまいました。大変申し訳ありませんでした。

質問 35 について

「自分たちの言うことを聞かなかったのを理由に」は「誓約書を出さなかったことを理由とし」という意味で用いました。そのため虚偽ではありません。

また理由ですが、友人や知人から「何で大九州にサークル参加しないのか」という声を何度も頂いていたため、事情説明のためツイートしたものです。

質問 36 について

「軽く脅された」については、先日のメールに記載した書き起こしの補足でお伝えした通り、警察側が事実と異なる報告をされています。

また「専門に漏らしたらしく」は、質問 1 で述べた通りです。

質問 37 について

質問 13・14 の通りです。

質問 38 について

「するわけにはいかない」で止まれず「だから排斥しよう、追い出そう」と考えた一部スタッフから「なぜ貸したのか」という苦情の電話が殺到しかねず、また質問 41 で提示するツイートなど、脅迫的言動も確認されており会場運営の面で危険であると判断したためです。

質問 39 について

内通者というのははず氏やイーボ氏のことで、無断転載や悪意的解釈を行ったスレッドを削除したという話を2016年10月に聞いており、それを「証拠隠滅」と判断しました。撤回の上謝罪いたします。大変申し訳ありませんでした。

なお、当該ツイートについては削除の上、謝罪ツイートを行っています。
改めてにはなりますが、誤った情報を流し続け大変申し訳ありませんでした。

質問 40 について

匿名メール（先日の旧在学先の学生のものでなく、「大分の東方同人音楽ファン」を名乗る者）が主張した内容です。

合同祭実行委員会様への意見や批判を行った私を、送り主は「批判や意見をツイートして、それを拡散させることでアンチを増やし大打撃を与え、参加者を離れさせて大損害を与えた大罪人」と大げさに捉えているのだと思います。

自分も一体何が起きているのか、私がそんな大ごとになるようなことをしていたのかと今でも理解できません。これについては私も事情をお伺いしたいところです。

「嘘つき呼ばわり」については「個人の揉め事には関与しない、それは合同祭実行委員会が責任を取られることはない」を「お前は嘘つきだ!」と言われたと思ひ込んだのだと思います。大変申し訳ありません。

質問 41 について

昨年9月24日の16時過ぎ頃に、遊びに来ていた母と共に博多駅を筑後口方面に抜ける際、偶然すれ違った夜音氏と思われる二人組の人物のうち一人から、「おい!!!!!!」と大声でこちらを見ながら大声で叫ばれ、周りの通行人が一瞬静まり返り啞然とする中、こちらを見ながらぶつぶつと小声で何かを知人に話しながら去っていきました。なお、その際警備員はその場にいませんでした。彼のTwitterの当該時間帯を検索した結果、自動車学校の帰りに、友人と共に博多駅近隣にいることをほのめかすツイートが見受けられたため、彼だと判断しました。

母も私も彼の行為に恐怖を感じ、私に至っては帰宅後にしばらく「次は刺されるのではないかと怯えていたほどです。「怒鳴られて済む程度であれば御の字」とは私は思いません。

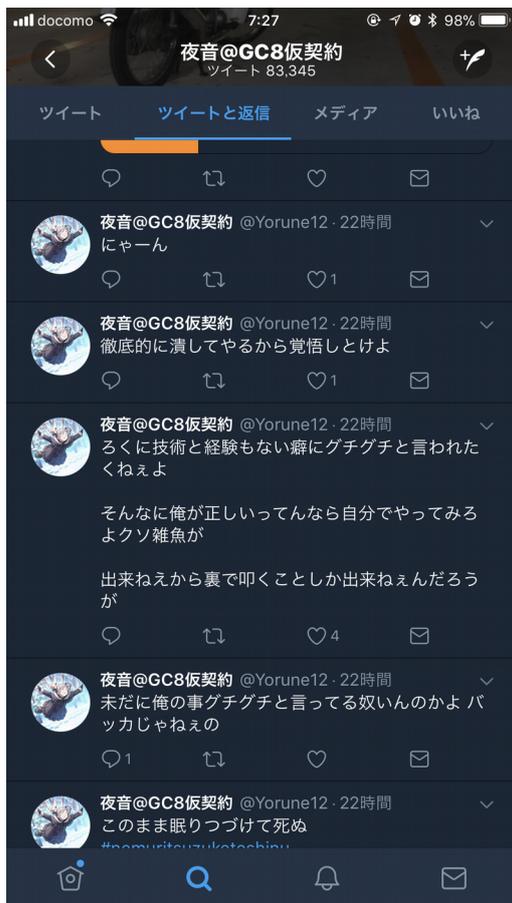
彼は思い込みが激しい節があり、それは質問38で述べた彼のツイートでも証明されています。

本人に失礼なことを述べますが、もし万が一「合同祭はわざと手加減してかっばに対応した」などと判断し、殺意を持てば、「怒鳴られて済む程度」で済むとは到底思えません（これは夜音氏以外にも言えます）。

事の顛末を所属スタッフ全員に報告している上、Twitterアカウントの削除が警察からの削除命令ではなく、私による所謂「消し逃げ」と所属メンバーが認識していたとすれば、猶更でしょう。

そのため「多少文句を言われた程度」としては声とこちらに向けられた殺意が大きく、彼がそれ以上の犯行に及ぶことがなかっただけ御の字であったとは到底思えません。

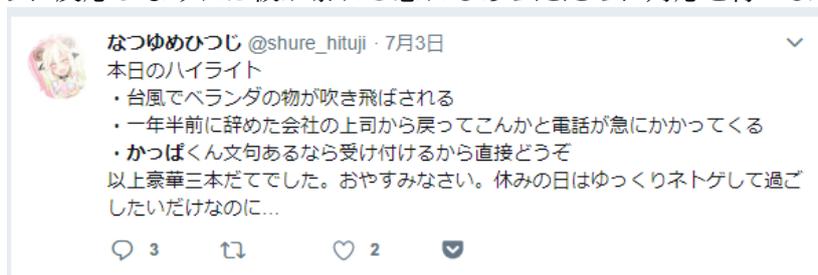
なお余談ですが添付している「yorune_tweet.pdf」のリプライのやり取りの中で「潰してやりたい」と明らかに脅迫的発言を行い、その他にも以下に示すスクリーンショットの内容にて「徹底的に潰してやるから覚悟しとけよ」と脅迫的発言を行うだけでなく、「論破してやるがな」と凶行をほのめかすツイートを行っており、私は身の危険を感じています。



蛇足ですが、私は2月のやりとりにおいて夜音氏には一切言及していませんし、さらに言えばカタログの内容とスタッフの態度についてのみ意見を述べたのであり、私のツイートも確認しましたが彼が激昂するような内容も一切ツイートしていません。彼には私が音響に関し批判をメールで述べたと思っているのでしょうか。もしそうであれば、恐怖でしかありません。

質問 42 について

最初に接触を行ってきたのはなつゆめひつじ氏です。下記ツイートがあった旨を父から聞き、実際に私の目で確認した上でやむを得ずDMのやり取りを行っています。後述する理由により、反応しなければ彼が暴れる恐れもあったため、対応を行いました。



なつゆめひつじ氏は2016年9月29日に「てれーぜ」と偽名を名乗り、「チャンコ増田が嫌いだから」と言い寄ってくることにより非公開設定を突破し、私からプライベートな情報を聞き出したうえで精神的に不安定なように見せかけるツイートを繰り返し、「増田様に人生を滅茶苦茶にされた人間」のように演じることで私を心配させ、心理攻撃を行っています。

また、非公開アカウントを「チャレンジ」の参加者の中で唯一突破できたことを利用し、サイボウズLiveのスレッドに、非公開時のツイートを無断で転載するなどの行為を行なっています。

なつゆめひつじ氏が「てれーぜ」だという証拠はみやびん氏より音声通話で伺ったことに加え、2016年12月14日に、セリカ氏と以下のSkype上でのやり取りを行っています。

18:03 かつばてっく

突然すみません。引越す前に、一つでも多くの和解を進めるためにも……とっていてふと気になったの質問があるのですが……

僕への鍵垢突破チャレンジの参加者の一人であるてれ一ゼさんが、僕を攻撃した理由に「たるほい先生と彼女であるお嬢さんが似ている、たるほい先生に色々接しようとしたり、お嬢さんに話しかけたりしていた恨み」を挙げた、という噂を耳にしたのですが、これってセリカさんも聞いたことありますか？

18:04 神楽セリカ@夜食っす！

あるねー

18:04 神楽セリカ@夜食っす！

恨みはどうかはしらんけど

また、本人は2018年7月4日にダイレクトメッセージにて上記の噂について以下のように述べています（かつこ内は私の発言）。

そちらに関しては少し齟齬が生まれているようなので訂正させていただきますね。

私の記憶している限りは、「お嬢氏への粘着行為（本人からその申し出を受けましたのでこう記載させていただきますね）は、ほたる氏と少し顔立ちが似通っていることによるかつばてっく氏の恋愛感情によるものではないのか、仮にそうだとしたら彼氏がいる女性に対して行う行為ではないのではないし、彼氏である私としては絶対に許せない」という推論を述べただけと記憶しています。

（「つまり伝言ゲームによる齟齬であったと……」）

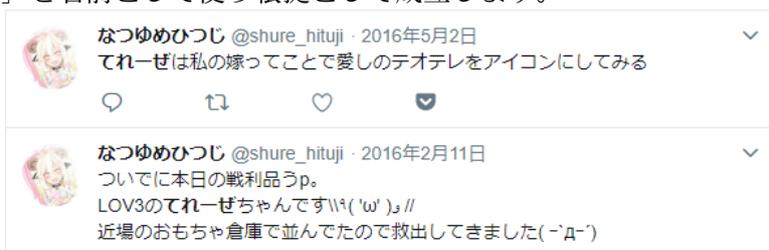
もちろん、当時私は激昂しておりました。今となっては昔の話ですが。

（「念のためお伝えしておきます

お嬢氏について、恋愛感情などその類の感情は持っておらず、寝取りなどの趣味もないため、断じて違うと断言いたします」）

無断転載については実際に私の目で見ただけではない、イーボ氏やすず氏からの情報であるため、根拠に乏しいと思われるかもしれませんが、しかし、質問30で述べたスレッドが存在し、33レスも付いていることが何よりの証拠です。

また、文面の流れで「てれ一ゼ＝なつゆめひつじ氏」説は成立していますが、加えて本人のTwitterに自分がてれ一ゼであることをほのめかすツイートこそ見つからなかったものの以下のツイートが残っており、「てれ一ゼ」を名前として使う根拠として成立します。



なお、以前「てれ一ゼひつじ」と彼が「てれ一ゼ」であることを明確にするアカウントとツイートが存在しましたが、現在は削除されているようです。

彼との会話の中でも述べましたが、私は紫咲ほたる氏のみ思いを寄せており、少々失礼な言い方にはなりますが、お嬢氏に粘着する理由も、必要性もありません。ましてや恋愛感情を抱いたことすら私には寝取る趣味もありません。「ほたる氏と少し顔立ちが似通っている」とも述べていますが、彼の主観による勝手な妄想であり、紫咲ほたる氏に対しても失礼ではないかと私は考えます。

「少し」程度であれば彼の価値観であり、私がそう思うという確証はどこにもありません。明らかに彼の主観から来た妄想による名誉棄損です。

強いて思い当たることと言えばお嬢氏がTwitterでツイートしたコスプレ写真に「天使みたい」とリプライを送ったことなのかもしれませんが、あくまで社交辞令の一環であり、粘着と呼ぶには難があります。

しかし、彼は「9appat3ch Laboratory.」としてサークル参加した2016年9月26日の会場現地で粘着などのセクハラ行為を行い業務を妨害したと、お嬢氏含む複数人の女性スタッフからの情報を根拠とし主張されています。

当日は自分のサークルスペースでの活動に忙しくそのようなことをする暇もなく、また休憩時に用事を早く済ませサークルスペースに戻るために速足で移動こそしましたが、女性スタッフをつける目的

で当該行為を行ったわけではありませんし、またセクハラをしようと思ったことすらありません。ましてやライブの事前整列の際、本名赤田氏に不正確な情報を伝えようとし業務に支障を及ぼしてしまつた行為は行ってしまいましたが、それ以外のスタッフとはほぼ話してすらいません。それにも関わらず、確固とした事実として彼は主張しています。こちら明らかに私の名誉を棄損しています。

また、合同祭実行委員会様に提出された証拠（2017年9月の資料に記載されている「別紙」）の提供を求めましたが、彼は提供を拒み、警察や弁護士にのみ渡すと主張しています。さらにその後、誤認していたことを謝罪することをせず、「家族を守るため」と称し場合によっては行為に動くと言及まで行い、私に対し謝罪を求めています。私はその要請に応えませんでした。いつ暴れられるかわからず生きた心地がしなかった、というのが正直な感想です。

以上のような理由により、こちらが訂正・謝罪する内容はなく、またその必要性もないと判断しています。またなつゆめひつじ氏・お嬢氏は事実でない推測による振る舞いの結果、私の名誉を著しく棄損しています。双方の謝罪を求めるよう、強く要請いたします。なお、「彼氏である私としては絶対に許せない」「当時私は激昂しておりました」の部分において脅迫的言動が成立し、明らかにスタッフ規約に違反していると私は考えます。こちらについて合同祭実行委員会様の見解をお聞かせいただければと思います。

なお本人からの提供によりご覧になられているかもしれませんが、「なつゆめひつじ氏とのDM口グ.pdf」というファイル名でなつゆめひつじ氏とのDMの記録を添付いたします。

質問 43 について

先述してきた通り、私はそれまで受けた行為から「合同祭＝表現や創作の自由を奪う敵」と判断しており、また下関にてアフロ侍氏から非常に不快な態度を取られました。「自分たちに都合が悪い事実はどんな手を使ってでも潰そうとしている。表現や創作の自由の侵害だ」と判断し、このツイートを行いました。

質問 44 について

アーカイブ犯について、現在は恐らく中傷メールを送信してきた旧在学先の専門学校生が犯人だと推測しています。しかし当時は中傷メールが届いておらず、しつこく粘着してくる人物がいるとしたら大九州合同祭実行委員会様の所属スタッフの犯行だと半ば断定していました。こちらについては情報が少ないにも関わらず、そこまでの事実で誤った判断を下した私のミスです。大変申し訳ありませんでした。

「文化崩壊」については、東京五輪を考慮に入れた、現在の東京・関東を中心としている同人文化について私見を述べたものです。

私の主張を説明するためにどうしても述べなければならぬため、一旦話を脇に逸らします。現在、大手首都圏イベントが「DOUJIN JAPAN 2020」（仮称）と称し2020年GWでの開催に加え、訪日外国人向けの施策も実施、および全国へ協力の呼びかけも行い同人誌文化・オタク文化をさらに盛り上げる大きな波としていく旨を発表していますが、私はこれに否定的な立場を取っています。今でこそコミックマーケットはメディアやマスコミに取り上げられる一大イベントではありますが、二次創作の権利関係も勿論ですが、同人グッズ問題やいわゆる「学級会」案件などからも分かるように、同人誌文化は本来アンダーグラウンドな面を含む「開かれたアンダーグラウンド」であるため、そのような行為に出ることは逆に予期していない層、例えばオタク排斥派や表現規制派の大量流入にもつながりかねず、また権利者と同人作家の境界線があやふやになり、新たな問題を引き起こしかねないと私は考えています。

また、「DOUJIN JAPAN」は大手首都圏イベントの運営による連名での共同声明であり、その他のイベントは首都圏のイベントの名前ですら記載されておらず、事実上大手イベントが他の同人イベントに協力を強いているような構図となっていることは、個人的な意見にはなりますが私は快く思いません。

最も、合同祭実行委員会運営部様がこの運動にどう考えているか現状知ることはできませんし、私の考えに同意しろと言っているわけではありません。ただ、少なくとも私はそのように捉えているというだけです。

さて、私の否定的な予想が万が一的中してしまった場合、最終的に同人誌即売会ごと同人文化が衰退する恐れが高いため、私は2020年を境に同人誌文化の衰退をはじめとした、オタク文化の「文化崩壊」が起こると考えています。

同人誌即売会は二次創作オリジナル関わらず「クリエイターの卵」を育む場でもあり、同時に商業で活躍するクリエイターの憩いの場としても機能している、誰もが平等に自分の作品を発表できる場で

す。その同人誌即売会の力が衰退していけば、新たなクリエイターの育成はこれまで以上に困難となるでしょう。

当然、「文化崩壊」とただ言っているわけではなく、解決策となりうる考えも私は持っています。それは博麗神社例大祭が静岡での開催に転換することを決めたように、同人誌即売会は「コミックマーケット・東京ビッグサイトが中心点」の今の状態から、全国へ分散すべきであるというものです。

当然「地方民」としてより多くのイベントに参加したい、という思いから来ているのもありますが、やはり首都圏の大手イベントのみが権力を持っている「同人＝コミケ」状態ではなく、「自分のすぐ隣で行われているもの」というありふれたものにすべきであると私は思っています。

私の理想通りとなれば地方イベントの自由度が制限される、と懸念されるかとは思いますが。

しかし、イベントの種類が異なりますが、東京ゲームショウや AnimeJapan、character1 などの商業イベントであればともかく、同人イベントに決められたフォーマットはない、むしろ固定概念を破壊し続けるのが同人イベントだと私は思います。

本筋に戻せば、大九州合同祭は事実上、九州エリアで最大手となる同人誌即売会です。

コミックシティやコミティアがほぼ福岡留まりであること、また同人音楽に絞ればアーケード音楽ゲームに楽曲提供されているサークルの参加率が九州一であることを考えれば、九州全域で開催されている合同祭実行委員会様は例えサークル数やスペース数が少ないとしても、九州一の勢力を誇っていると私は思っています。

そこにここまで述べてきた内容を証拠とし、スタッフが個人で陰湿な特定個人に対しての攻撃を行っていた、即ち私が「黒い話」と表現している事実がもしも具体的な形で公になったとします。

すると、先輩スタッフやサイボウズ等の過去ログで合同祭側の背景も把握できるスタッフはともかく、一般・サークル共に参加者の減少は免れず、結果的に九州の同人イベントのパワーバランスが崩れ、九州における同人文化が衰退する、すなわち文化が崩壊するのではないかと私は考えます。

特に一般参加者において、イベントが誰に対しても中立的なものであると信じている方が多いのでは、と現状の同人文化の流れを見てみると、私はどうしても公になった場合の参加者への影響が少なくないものと考えてしまいます。

自慢げに言っているつもりはありませんが、スタッフとサークル参加と一般参加はそれぞれ別物と思い込んでいた、私という人間がいます。現在の同人文化は若年層も多いこともあって「同人文化」という存在を正しく理解している人は多くないと考えますし、私も正しく理解できているとは思っていません。

そのような状態で「黒い話」が明らかになり、もし私が述べたような事態が起きれば、影響を受けるサークルの数は計り知れません。

合同祭の競合となりうる新規の同人イベントが誕生する可能性も、若年層が多く同人経験が足りない方が多いこと、また合同祭実行委員会様が質疑応答で述べているように「イベントは儲かる」と誤解が生まれているにも関わらず、誤解ではなく事実だと自らの成果を根拠に主張する方が出ないことなどから、絶望的と言うしかないでしょう。

影響を受けるサークルの中に、歌恋人さんや魂音泉さん、EastNewSound さんや DiGiTAL WiNG さんのような、私が愛するサークルがいれば尚更です。

小佐井様は 2017 年 8 月 9 日に「合同祭実行委員会の言う「危害を加える」というのは犯罪の構成要件を満たす行為を意味します。構成要件該当性がなく、違法性もない行為であればそれは個人の自由の範疇です。」と述べておられます。私はここまで述べてきたスタッフ側の迷惑行為の一部、特になつゆめひつじ氏の憶測を根拠とした一連の行為について、犯罪の構成要件が満たされるものがあると確信しています。

また夜音氏、なつゆめひつじ氏をはじめとした一部スタッフの行為は、スタッフ規約で除籍処分の対象となる「当会または関係人員の名誉や信用を著しく失墜させるような言動・行動」に該当する行為と私は考えます。

少なくとも私は彼らの行為の結果、合同祭実行委員会様の信用は直近に至るまでほぼ皆無に近く、また私や私のサークルの信用も失墜し、大変迷惑しています。

それでも 2018 年 6 月 7 日に至るまで、一切合同祭の名前を具体的に出すことは控えていました。

私が初めて参加した同人イベントが 2014 年 2 月の大⑨州東方祭であり、私の手で直接手を下したくなかったためです。確かに名前を伏せて悪く言うてはいましたが、それでも私はあの場に思い出があり、縁があり、なくなってほしくないという思いから、自覚して直してほしいと思い、わざと公の場で言い続けていました。

しかし悪質なアーカイブ行為が止まず、また二極性障害特有の周期的な精神的悪化が重なったため、合同祭実行委員会様の仕業と思ひ込み、憎しみと憤りが止まらず、発散のために書き込んでしまいました。大変申し訳ありませんでした。

以上を回答と致します。